

# 保険料年平均5300円増

厚労省試算  
75歳以上医療24年度から

厚生労働省は9日、  
2024年度から実施  
するとしている75歳以  
上の医療制度改定で、  
一人当たりの保険料が  
平均で年5300円上  
がるとの試算結果を社  
会保障審議会の部会に  
示しました。「中間所  
得者」を含む保険料の  
引き上げや出産育児一  
時金の増額に伴う新たな  
拠出などによるもの  
です。

この制度改定に加  
え、同年度は高齢化に  
よる医療費増を保険料  
に反映することが予定  
されており、合わせて  
と平均600円の負  
担増になります。

試算は、原則42万円  
の出産育児一時金を5  
万円増やすと仮定した  
もの。一時金全体の7  
%分を新たに負担させ  
ます。

上げは、年収が約1千  
万円超の「高所得者」  
(後期高齢者の1%)  
を想定。加えて中間所  
得者らの収入に応じ  
て決まる保険料の「所  
得割」部分を引き上げ  
ます。平均4000円  
の引き上げとなり、年  
金のみで年53万円  
超の収入がある約4割  
の人人が対象となりま  
す。

医療団体などの懸念

から「高齢者の不安を

あおってしまいます。負担

増に耐えられるのか」

「高齢者がターゲット

になっている」と次々

と懸念が表明されまし

保険料の上限額引き

この制度改定で、年  
た。